算数科 小学校 3年

単元名「あまりのあるわり算」

【本時の目標】
○余りを切り上げて処理する問題を解く。

単元の流れ

【第１時】
余りのあるわり算についての動機付けをする。

【第２時】
包含除で余りのあるわり算の意味を理解する。

【第３時】
余りは、いつもわる数より小さくなることを理解する。

【第４時】
筆算での計算方法を知る。

【第５時】
余りのあるわり算の計算をする。

【第６時】
余りのあるわり算の答えの確かめをする。

【第７時】
練習問題を解く。

【第８時】
余りを切り捨てて処理する問題を理解し、解く。

【第９時】
余りを切り上げて処理する問題を理解し、解く。

【第 10、11 時】
練習問題を解く。

【第 12 時】
評価テストをする。

本時の流れ

復習
・前時の復習をする。

【めあての把握】
分かっていること、たずねていることを確認し、場面のイメージを持たせ、「みんな座るために、あまっている人をどうしたらよいのか」という課題をもたせる。

めあての把握
・本時のめあてを知る。

【めあて】
あまりをどうすればよいか考えよう。

自力解決
ペア交流

【発問】
みんな座るには、長いすは何きゃくいるか考えてみよう。

【自力解決】
自分なりに図や言葉で表現させ、余りをどうするか考えさせる。

【ペア交流】
自分の言葉で、相手に伝えられるよう助言する。
図や説明が分からなかった児童には友達の意見をヒントに考えさせる。

集団解決
・式で出る答えと、問題の答えが違うことの理由を考える。

【発問】
長いすが何きゃくいるのか、自分の考えを発表しよう。

【話合い】
自分の考え方を、図を使って説明させる。友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、余りを切り上げることに気付かせる。

適用問題

２１このボールをはこに６こずつ入れます。ぜんぶのボールをはこに入れるには、はこは何はこいりますか。

学習のまとめ
学びの振り返り

【振り返り】
本時の学習で分かったこと、大切なことを書かせる。

HOME　単元の流れへ　授業展開例へ